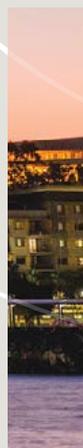


オーストラリア、ノーザンテリトリー (北部準州) における投資機会

天然ガス、水素、クリティカルミネラル



[TheTerritory.com.au/invest](https://www.theterritory.com.au/invest)



**THE
TERRITORY**
BOUNDLESS POSSIBLE



目次

はじめに	2
共有する歴史	3
チーム・テリトリー	4
なぜノーザンテリトリー？	9
投資機会	
石油とガス	10
再生可能水素	12
鉱物	14
ミドルアーム持続可能開発地区	16
協力的なビジネス環境	18

はじめに

豪日関係は、オーストラリアにとって最も重要な関係の一つです。私たちは普遍的な価値を共有するダイナミックな戦略的パートナーであり、両国の関係は強固かつ永続的なフレンドシップ、商業、および互いの尊重によって築き上げられています。

日本はノーザンテリトリーにとって最大の貿易および投資のパートナーであり、こうした関係は今後も長期にわたって継続することでしょう。

私は、両国が過去何十年にもわたり強固な信頼関係を築いてきたことを大変うれしく思い、また今後何十年にもわたりノーザンテリトリーは両国の関係においてますます重要な役割を果たすものと強く信じております。

ノーザンテリトリーの人口はオーストラリア全体の1%に過ぎませんが、その管轄区域は広大なオーストラリア全土の6分の1を占めており、数々のエキサイティングな機会をもたらす豊富な天然資源と壮大な自然に恵まれています。

ノーザンテリトリーは無限の可能性を秘めています。日本最大の対外投資であるINPEXのイクシス・プロジェクトは、豪日両国に多大な利益をもたらしました。今日、私たちは両国が共有する歴史に新たなページを刻もうとしています。今こそ、イクシス・プロジェクトの実績に基づき、さらなる成長の実現および新たな機会に目を向ける時ではないでしょうか。

現在、ダーウィン港から日本へ向けてLNGの積荷が週3回発送されています。将来はこれに水素とクリティカルミネラルが加わり、当準州における天然ガスの生産がさらに増加するよう私たちは願っています。

当準州では現在、アラフラ・リゾーシズおよびエンパイア・エナジーが率いる最も有望かつ投資可能な2件のプロジェクトに加え、天然ガス、水素、クリティカルミネラルにおけるさまざまな機会が創出されています。私はこのたび、こうしたすばらしい機会の数々を皆さまにご紹介させていただくことができ、誠に光栄に存じます。

このたび大使には本日のイベントをご支援いただき、心より感謝いたしております。また、当合同セミナーを主催していただいた日本国総領事館にも厚く御礼申し上げます。

ご出席の皆さま方には、ノーザンテリトリーがもたらすさまざまな機会をぜひご活用いただきますようお願い申し上げます。

ノーザンテリトリー・インベストメント・コミッショナー
アンドリュー・カウアン



共有する歴史

日本とノーザンテリトリーの間には、貿易および文化の面で深いつながりがあります

1900年代初頭、オーストラリアからヨーロッパまでの航海には1か月以上が必要でしたが、日本にはわずか8日間で行くことができました。このため、日本は比較的早くから自然に貿易パートナーとなったのです。真珠採取を中心としてノーザンテリトリーと日本との間に貿易関係が構築されたのもこの頃です。オーストラリア北部から北西部にかけての海岸沿いで、約4000人の日本人が真珠採取および真珠産業に携わっていました。

ノーザンテリトリーにおける近代の真珠産業は、ダーウィンの海岸に放棄された真珠の輸送船と共に始まりました。ギリシャ人の移民である起業家のニコラス・パスパレーがこれらの輸送船群を引き取り、事業に着手したのです。やがてニコラスとその家族は、日本人の科学者の協力を得て、新しい養殖真珠の技術を導入しました。その後もパスパレーと日本のつながりは強化の一途を辿り、2012年にはニコラスの孫であるジェームズ・パスパレー氏がダーウィンの日本国名誉総領事に任命されています。

今日、ノーザンテリトリーと日本は貿易のみならず、人と人との強固なつながりに基づく極めて重要な関係を築いています。

ノーザンテリトリーと日本は戦争の歴史を認識し、真摯に向きあっています。毎年、ノーザンテリトリーはダーウィン爆撃の記念日に日本政府の代表者を招いています。また2015年には、第二次世界大戦中にダーウィン沖で撃墜され亡くなった日本人パイロットのご遺族が大阪から訪れ、ご夫人の遺灰をダーウィン湾の現場に散骨されました。この時ノーザンテリトリー政府は、来豪されたご家族の方々を歓迎し、支援を提供しています。

ノーザンテリトリーは定期的に豪日経済合同委員会会議に参加しています。2014年にはノーザンテリトリーが会議の主催地となり、INPEX、三菱商事、JGC、千代田化工建設、三井物産、そして日本三大銀行である三井住友銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行を含む何百ものビジネスリーダーたちが日本とオーストラリアの各地から集まってきました。

INPEXのイクシスプロジェクトにより、日本から多数のINPEXスタッフがダーウィンに移住または訪問し、さらに強固な関係が構築されています。かつてダーウィン湾で真珠採取船の舵をとっていた先人たちは、巨大なLNGタンカーが日本へ往來し何十億ドルもの貿易額をもたらすことを予想できたでしょうか？

ノーザンテリトリーと日本は歴史的に深いつながりを持ち、中でもダーウィンは地理上のみならず歴史的および近代的な関係においても日本に最も近いオーストラリアの都市となっています。

チーム・テリトリー

ノーザンテリトリー・インベストメント・コミッショナーと主要プロジェクト・コミッショナーについて

- このたび新たに任命されたノーザンテリトリー・インベストメント・コミッショナーおよび主要プロジェクト・コミッショナーは、業界と政府をつなぐ重要なリンクの役割を果たします。
- 各コミッショナーは準州首相への報告義務を有し、さらに各大臣への勧告および内閣への提言を行う権限も備えています。彼らはインベストメント・テリトリー (Investment Territory) 内の約10人の専門職員から成るチームを監督します。他の職員は2つのチームの間で定期的に交代します。
- コミッショナーとそのチームは、インベストメント・テリトリーが過去18か月間で達成した実績に基づき、2030年までに400億ドルの経済に発展させるという準州政府の目標を達成するため、積極的に投資および事業改革を追求します。
- 主要プロジェクト・コミッショナーは主要プロジェクトの調整を担当し、事業者がスムーズに認可を取得できるようサポートすると共に、準州内の雇用を促進します。また、プロジェクトの実行を促進するため、必要であれば法規制の追加変更を提言し、さらに必要であれば任務の遂行に必要な法的な権限を確認します。主要プロジェクト・コミッショナーは持続可能な開発地区の設立・運営を監督し、また新規に設立されたランド・ディベロップメント・コーポレーション・ボード (Land Development Corporation Board) の議長も務めます。
- どちらのコミッショナーも、ノーザンテリトリーへの投資誘致という最も重要な目標のため尽力します。



アンドリュー・カウアン

インベストメント・コミッショナー

アンドリューは、インベストメント・コミッショナーとしてノーザンテリトリー政府の広報宣伝および当準州への投資誘致を指揮しています。

彼は複雑なプロジェクトの数々を開発・成功に導き、政府の優先課題を戦略的に実行してきました。最近では防衛、国家安全保障、デジタルおよび観光セクターなど、幅広い種類の事業を手がけています。内閣府に加わる前は、貿易ビジネス・イノベーション省 (当時) のエグゼクティブ・オフィサーとして、国際関与、貿易・投資、労働力開発および中小企業などの部門を担当していました。

アンドリューは官民両セクターで20年以上にわたり幹部・管理職の経験を有しており、2010年に準州政府に加わりました。彼は科学および教育の高等教育の資格を有し、Australia and New Zealand School of Governmentの特別研究員でもあります。



ヘイリー・リチャーズ

主要プロジェクト・コミッショナー

ヘイリーは、主要プロジェクト・コミッショナーとしてノーザンテリトリー政府の主要プロジェクトおよびコマーシャルグループを指揮しています。

彼女はプロジェクト促進、産業開発、経済政策、環境政策および遠隔地の経済開発政策および実践において豊かな経験を誇ります。

長年にわたり準州政府の内閣府で経済環境政策のエグゼクティブ・ディレクターを務め、準州経済の全領域を網羅する課題に関して助言を行ってきたヘイリーは、公益と商業の現実との接点について優れた洞察力と幅広い視野をもたらします。2019年にインベストメント・テリトリーが設立された時、ヘイリーは商業促進部門の編成を指揮し、当準州による鉱山、石油、ガス、アグリビジネス、観光およびサービスの大規模・主要プロジェクトの促進に貢献しています。今日も彼女は投資およびプロジェクト開発のため継続的に支援を提供しています。

ヘイリーは2009年に準州政府に加わりましたが、それ以前はアジアおよび英国の民間セクターで管理職・指導者の役割を果たしていました。彼女は高等教育機関で経済学の資格を取得しています。



シヨーン・ドラブシュ

産業・観光・貿易省
チーフ・エグゼクティブ・オフィサー

産業・観光・貿易省に加わる以前、シヨーンは20年以上にわたり幅広い官民両セクターで幹部職を務めた後、貿易・ビジネス・イノベーション省（当時）を指揮していました。政府関連の任務には、元クイーンズランド州首相ピーター・ビーティのシニア経済アドバイザー、クイーンズランド州のアシスタント・コーディネーター・ジェネラル、連邦政府ブロードバンド・コミュニケーション・デジタル経済相の首席補佐官などが含まれています。

彼は鉱山、資源、農業、電気通信、観光セクターのプロジェクトにおいて豊かな経験を誇り、また議会、内閣、予算編成プロセス、土地保有権、コーポレートガバナンスの深い知識を身につけています。

シヨーンは経済の優等学位を取得している他、インフラストラクチャー・プロジェクト・ガバナンスの分野ではPhD候補、Australia and New Zealand School of Governmentの特別研究員で、Australian Institute of Company Directorsの卒業生でもあります。



アン・タン PSM

産業・観光・貿易省
鉱業・エネルギー担当
副チーフ・エグゼクティブ・オフィサー

アンは産業・観光・貿易省で鉱業・エネルギー担当副CEOを務めています。公共部門において30年間の経験を誇る彼女は、以前には首相府、財務省、電力・水道公社など、多数のノーザンテリトリー政府機関で上級管理職を務めていました。

彼女は現在、ノーザンテリトリーの鉱業・エネルギー部門を指揮しています。同部門は「基礎研究段階の地質データおよび効率的な競争の規制枠組を発表すること」、「準州のエネルギー制度を確立し、再生可能エネルギーの政府目標50%を2030年までに実現し、最終的には2050年までにネットゼロを実現すること」、さらに「準州の再生可能エネルギー部門の開発機会を促進すること」などを通して、当準州における鉱業・石油セクターの持続可能な開発促進を担っています。

アンはアデレード大学で法学・経済学の学士号を取得しており、またAustralia and New Zealand School of Governmentで行政学の修士号を取得、さらに2016年には公務員を対象としたオーストラリアの勲章 (PSM) を受賞しています。



ジェイソン・ハウ

内閣府
ガス担当特別委員会
エグゼクティブ・ディレクター

ジェイソンは、ノーザンテリトリー内閣府に設置されたガス担当特別委員会のエグゼクティブ・ディレクターを務めています。ジェイソンと彼のチームは、同特別委員会の委員長であるアリスター・トライヤーを補佐し、2030年までに世界的なガス生産・製造・サービスの拠点になることを目標とするノーザンテリトリーのガス戦略を実行するため、政府全体の取り組みを調整しています。

彼は民間および公共部門において幹部・高官として10年以上の経験を誇り、これまでに事業運営、プロジェクトおよび営業管理、経済・産業・ビジネス・プロジェクト開発、衛生・安全・環境・品質管理、人材管理および組織開発など多数の部門を指揮してきました。

ジェイソンはカーティン大学で商学および心理学の学士号を取得し、会計学のグラジュエート・サーティフィケート、また心理学のポストグラジュエート・ディプロマも有しています。また彼はIE大学で法人財務を専攻し、経営学修士を取得しています。



イアン・スクリムジャー

ノーザンテリトリー産業・観光・貿易省
ノーザンテリトリー地質調査所 (NTGS)
シニア・エグゼクティブ・ディレクター

イアンはアデレード大学で地質学の博士号を取得しており、またノーザンテリトリーにおける産業界および政府の資源部門で25年の経験を有しています。

彼は2006年以来ノーザンテリトリー地質調査所 (NTGS) のエグゼクティブ・ディレクターを務め、2600万ドルに上る現行の“Resourcing the Territory”を含む、探査部門の発展を目的とした数々の政府イニシアティブを担当しています。これらのイニシアティブには基礎研究段階の地球科学プログラムや業界の補助金、さらに準州の資源ポテンシャルのプロモーションおよび投資誘致のプログラムなどがあります。



フィオナ・パーク

内閣府、インベストメント・テリトリー
主要プロジェクト・鉱物担当
シニア・ディレクター

2012年以来、フィオナはノーザンテリトリーの資源プロジェクトの提案者と協力してプロジェクトの進行、新規投資の誘致、そして長期供給契約などに携わってきました。これまで彼女は、当準州のプロジェクト提案者のために投資誘致団の手配および調整を何度も行い、日本にもオーストラリアの資源関連企業を頻繁に案内しています。

これまで彼女はオーストラリア、スイス、アラブ首長国連邦、ミャンマーといった国々で電気通信、金融、電力小売、映画・テレビの各セクターにわたり、プロジェクトリーダーシップ、経営コンサルティング、契約管理 (シニア) 等の役割を果たしてきました。

フィオナは会社取締役としても豊かな経験と資格を誇り、10億8000万ドルに上るビクトリア州北部の灌漑再開発プロジェクト、障害者介護支援サービス (DASSI)、ミンディルビーチ市場委員会、AONT (関節炎・骨粗しょう症患者の支援団体) など、数多くの地域団体および政府機関の取締役会や委員会で活躍してきました。

彼女は機械工学の学士号、付加的な情報技術のサーティフィケーション、契約管理の大学院修了資格を有しています。2010年にはメルボルン・ビジネス・スクールで経営学修士を取得し、ヘレン・M・シュット・フェローになっています。



ジーナ・カシマティス

ノーザンテリトリー産業・観光・貿易省
貿易開発担当ディレクター

ジーナはノーザンテリトリーの公共部門で法人およびエグゼクティブのサポート、政策関連の任務を10年以上務め、現在は産業・観光・貿易省の貿易開発部門を監督しています。

ジーナはクイーンズランド工科大学でビジネス (国際ビジネス) と芸術・人文科学 (アジア太平洋学および日本語) の二つの学士号を取得し、日本と英国で学業と仕事に励みました。ジーナは国際的な貿易および投資パートナーとの既存のパートナーシップのさらなる発展、および新たなパートナーシップの構築に熱意をもって取り組んでいます。彼女はノーザンテリトリーのすでに確立した産業のみならず、ニッチおよび新興の部門においても投資および貿易機会の促進に尽力しています。



ギャビン・ロッキヤー

BBus, ACA, FTA

アラフラ・リゾーシズ
マネージング・ディレクター

ギャビンは1987年に西オーストラリアで会計および金融のビジネス学士号を取得し、後にInstitute of Chartered AccountantsおよびFinance and Treasury Association of Australiaのメンバーになりました。

彼はティーシアン・コッパー社で経理財務部長を務めた後、2006年に最高財務責任者兼カンパニー・セクレタリーとしてアラフラ・リゾーシズに参加しました。過去にギャビンは、世界的な鉱業会社であるニュークレストおよびニューモントにおいて金融または財務に関連した複数の管理職に就いていました。それ以前は、オーストラリアのバンクウェストとANZ、ロンドンのバンカーズ・トラストおよびドイツ銀行で、国際的な投資銀行業務に従事していました。

ギャビンの多様かつグローバルな経験は、会計、財務および投資銀行業、大規模な資源開発および事業、グローバルな銀行の財務を含む幅広い分野においてマネージメントおよびリーダーシップの機会をもたらしています。過去20年以上にわたり、ギャビンは北米、ヨーロッパ、オーストラレーシアにおいて確固たる実績を築き上げています。



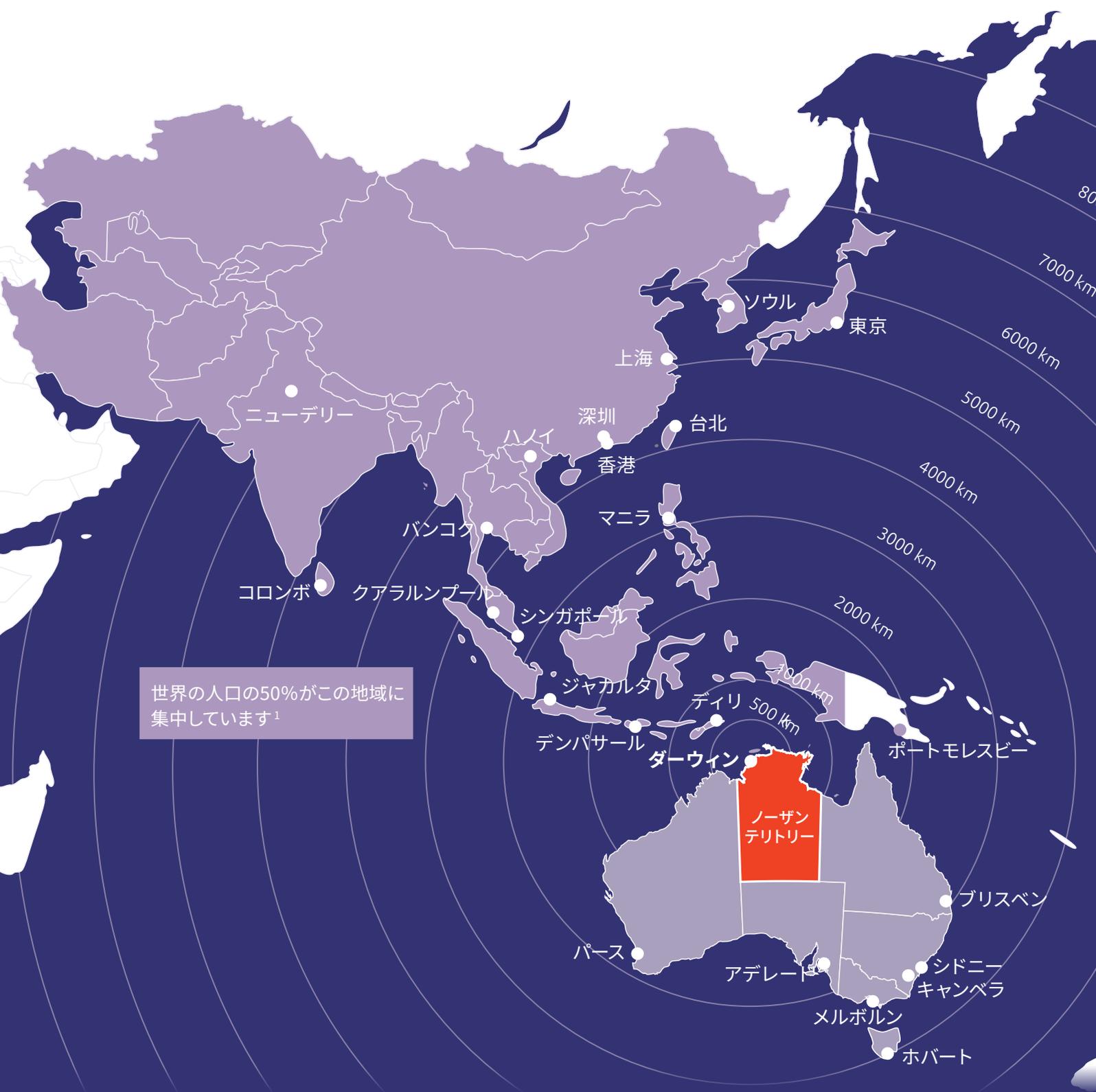
アレックス・アンダーウッド

エンパイア・エナジー・グループ
代表取締役／最高経営責任者

アレックスは、2018年3月6日にエンパイア・エナジーの100%子会社であるインペリアル・オイル&ガス社に最高経営責任者として参加しました。彼は2018年8月30日にエンパイア・エナジー・グループの最高経営責任者兼代表取締役に任命されています。

アレックスは15年間近くにわたり、石油・ガス産業の上流部門における専門的な投資および融資に携わってきました。以前にはオーストラリア・コモウエルズ銀行シンガポール支店で天然資源部門のディレクターを2年間務め、シドニーとシンガポールのマッコリー銀行ではエネルギー市場部門のアソシエイト・ディレクターを9年間務めました。アレックスは、パースとメルボルンのBHPビリトン・ペトロリアムでキャリアをスタートしています。彼は商学（会計）（優等学位）と法学（専門化した法人および商法の認定）の学士号を取得しています。





世界の人口の50%がこの地域に集中しています¹

ノーザンテリトリーは、企業や投資家の方々に地理的な優位性をもたらします。ダーウィンは、成長を続けるアジア市場に最も近いオーストラリアの州都であり、国際空港による各都市とのリンクに加えて、オーストラリア北部で唯一操業している深水港も備えています。

¹ 出典: www.un.org/en/development/desa/population/index.asp
 地域の定義: <https://unstats.un.org/unsd/methodology/m49/>

なぜノーザンテリトリー？

意欲と創造性に満ちたコミュニティにぜひご参加ください。

ノーザンテリトリーは、意欲と行動力に満ちた投資家の方々を歓迎いたします。準州を挙げての歓迎は、政府機関による充実したサポートや、地元の人々とのあたたかい交流を意味します。

野心的な成長政策を進める準州政府は、単に投資家の方々のプロジェクトについて聞くだけでなく、その実現に向けた協働を望んでいます。

ここノーザンテリトリーにおいて、野心的な考えは目新しいものではありません。それこそ、私たちが日常的に行っていることなのです。

ノーザンテリトリーは、豊富な天然資源および大型プロジェクトの存在で広く知られています。この地では、好奇心と野心、先進的な考え方を持つ人々にとって新しい機会が無限に開かれています。

同州はこれまで¥37兆 (US\$340億) のイクシス液化天然ガス(LNG)プロジェクトなど大規模なプロジェクトを誘致しています。

準州政府は、すでに進行中である数々の大型プロジェクトおよび持続可能な経済開発の実現、さらに民間部門の新規投資を誘致することで、2030年までに経済成長を50%以上に押し上げるという野心的な目標を掲げています。

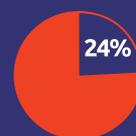
目標を夢見るだけでなく、その達成に向けて前進を続ける、活気に満ち溢れた大地、それがノーザンテリトリーです。

ノーザンテリトリーは野心をもって新しい産業を追求し、イノベーションや確立した産業の成長を通して、伝統に基づきその構築に努めます。

私たちは未来へのビジョンを持ち、その実現方法も理解しています。私たちの成長政策では、当準州が競争優位性を備える下記主要産業への民間投資が標的となっています。

- エネルギー
- 鉱石
- 宇宙
- アグリビジネス
- 観光
- 外国人留学および研修

私たちは日本の投資を歓迎いたします。



物品およびサービスの海外輸出は、当準州のGSP (州内総生産) の24%を占めています¹



2021–2023年度 (会計年度) の経済成長率は平均2.7%と予想されています²



当準州の主要輸出品目は、液化天然ガス、生きた動物、鉱石および精鉱です³



物品が純輸出に占める割合は93.5%、サービス業の取引は6.5%です⁴



物品の三大輸出相手国：日本、中国、韓国⁵

^{1,3,4,5} 出典: nteconomy.nt.gov.au/international-trade

² 出典: nteconomy.nt.gov.au/outlook

投資機会 — 石油とガス

機会

ノーザンテリトリーは、豊かなガス産業の歴史を誇ります。特に陸域では中央オーストラリアのアマデウス盆地、海域ではバユ・ウンダン、イクシス、ブラックティップのガス田が主要な生産地となっています。

近年では陸域のビータル・サブベースンにおいて、油層のプレイで地質学的に連続した異例な頁岩が2万5000平方キロメートル以上あることが発見されました。これは米国の巨大なマーセラス頁岩層に匹敵します。

今日までの探査では、ビータル・サブベースンでは一つの頁岩層だけで最低500兆立方フィートの「P50レベルの原始埋蔵量」の存在が示唆されています。

こうしたポテンシャルを背景に、ノーザンテリトリー政府はガス産業の多様化と成長を計画しています。これにはダーウィンにある液化天然ガス (LNG) 輸出の拠点、ガスをベースにした加工および製造セクター、パイプラインとインフラ、サービスおよび供給セクターなどが含まれています。



ロケーション

オーストラリア、
ノーザンテリトリー



セクター

石油とガス



投資の種類

M&A、合併事業、株式投資、財政
または経営上のパートナーシップ、
新規事業または支店・支部の
設立



プロジェクトのステータス

探査および評価が継続、生産およ
び拡張も継続中





陸域の探鉱権協定

陸域における大規模な商業的ガス生産のポテンシャルは、オリジン・エナジー、サントス、アーマー・エナジー、エンパイア・エナジーにより提案された現在の探査活動およびプログラムによって脚光を浴びています。

日本の企業の方々にとっては、陸域で活動する小規模（ジュニア）または中規模（ミッドティア）の探鉱企業とパートナーシップを結び、これらの資源を生産へと導く機会が存在します。また、ノーザンテリトリー政府は鉱区解放にも公式に着手しています。

LNGの拡張

ダーウィンは世界的なLNGのハブであり、ダーウィンLNG、イクシスLNGプロジェクトの拠点でもあります。これらの設備は3か所のLNGプラントで操業しており、年間合計1260万トンの生産能力を有しています。同設備は、現在は再開発用地となっている土地に拡張される予定であり、ここにはLNGプラントを新たに5基設置することが可能となっています。2021年3月、サントス社は3930億円（36億米ドル）に上るパロツサ海域の合併事業を進めるとともに、同社が運営するダーウィンLNGプラントを約20年間延命するために650億円（6億米ドル）の投資を行うことを発表しました。

有望な陸域のガス資源は既存の海域ガス田による生産を補完し、ダーウィンからのLNG輸出増加をサポートできます。また、東海岸市場への天然ガスの供給を通してオーストラリアのエネルギー安全保障に貢献するとともに、ダーウィン湾における新たな製造セクターを支援できるものと期待されています。

ガス・パイプラインのインフラ

準州の埋蔵ガスは、ノーザン・ガス・パイプライン（NGP）を通してオーストラリア東部の市場とつながっています。NGPの拡大および延長のオプション、そしてピータルーからダーウィンまでのパイプラインは、さらなる投資機会を提示しています。ピータルー・サブベースンからダーウィンへのパイプライン回廊については現在、調査が進められています。

サービスと供給

ダーウィンは4基のLNGプラント（イクシスLNGに2基、ダーウィンLNGとオフショアのプレリユード・フローティングLNG設備にそれぞれ1基）に対するサービスおよび供給の拠点となっています。

陸域の探査と評価活動が活発になるにつれ、ダーウィンおよび各地域中心部の関連サービスおよび供給セクターにおいて重要な投資機会がもたらされることでしょう。

エネルギーの専門知識

ダーウィンには石油・ガス産業をサポートする熟練した労働力が集まっています。建設が完了したばかりのイクシスLNGプロジェクトは、ワールドクラスの石油・ガスのプロジェクトに即座に対応できる労働力をもたらし、将来の投資家たちに貴重な遺産を残しています。

ダーウィン、アリススプリングス、キャサリンにキャンパスを有するチャールズ・ダーウィン大学は“Energy and Resources Institute” および “North Australian Centre for Oil and Gas” の2施設を備え、新規プロジェクトをサポートする研修施設および研究開発設備を提供しています。

投資機会 — 再生可能水素

機会

ノーザンテリトリーのビジョンは、再生可能水素 (H₂) への移行を促進する世界的リーダーとなることです。

当準州は、再生可能水素の技術研究、生産、および下流部門の製造において国際的な中心地になることを目指しています。

こうしたビジョンの達成のため、当準州は以下のような利点を備えています。

- 日射量の多い土地に恵まれた当準州は、太陽光による大規模な再生可能水素の開発に非常に適しています。
- 当準州はアジアと近接し、輸出が見込まれる中国、日本、韓国の主要市場へもオーストラリアで最も近い州都港を備えています。また、ダーウインの深水港からはより迅速に、より安価な輸送費で供給が可能となっています。
- 当準州の確立された世界規模のエネルギー生産および輸出産業は、大規模なエネルギー輸出プロジェクトを提供できる実証済みの能力を備えており、民間の投資家に競争力をもたらす絶好のロケーションとして高い信頼を集めています。
- 当準州は、ネットゼロの実現に貢献するような投資の促進および支援に力を注いでいます。

水素エネルギーにおけるノーザンテリトリーのアドバンテージ

ノーザンテリトリーは、再生可能水素の拠点開発において重要なアドバンテージを有しています。大量の再生エネルギー資源、充実したインフラ、世界規模のエネルギー生産開発および輸出産業の専門知識を有する当準州は、台頭する水素エネルギーの機会を活用できる、大変有利な立場にあります。

準州政府は、地元産業の確立および構築のため民間投資の誘致に力を注いでおり、当準州で水素プロジェクトを開発する民間セクターの提唱者たちと活発な議論を交わしています。当準州は、2020年ノーザンテリトリー再生可能水素戦略と足並みを揃えたプロジェクト開発に向けて、投資および提携パートナーを募集しています。

再生可能エネルギーのイノベーション

ノーザンテリトリーは、再生可能エネルギーのイノベーションに向けて急速に前進しています。

州都を拠点とするチャールズ・ダーウィン大学は再生可能エネルギーセンター (Centre for Renewable Energy) を擁し、さまざまな分野にわたり研究および研修を行い、業界を主導しています。

中央オーストラリアの “Desert Knowledge Australia Solar Centre” は、南半球最大のマルチテクノロジー太陽光実証施設です。“Intyalheme Centre for Future Energy” は未来のグリッドオプション (テクノロジー、システム、ネットワーク、商業・市場のパートナーシップ) を概念化および実証する協働プロジェクトを実現し、パイプ役としての役割 (つながりを促進、助言を提供、プロジェクトと人を連携) を果たし、また知識を共有することによって再生エネルギーの将来性をさらに高めています。



投資機会 — 鉱物

機会

ノーザンテリトリーは、ワールドクラスの鉱床を数多く有しています。例えばグレートアイランドにはマンガン、ゴープにはボーキサイト、マッカーサーリバー鉱山には鉛—亜鉛—銀、タナミのキャリアーには金の鉱床があります。

当準州では、商業的なポテンシャルを秘めた多種の鉱産物も有望視されています。また、世界に向けたクリティカルミネラル（レアメタル）の安定供給も期待されています。これらの重要鉱物には、バッテリー用鉱物のほか、先進的製造業および環境保全技術で使用される鉱物や金属などが含まれています。



ロケーション

オーストラリア、ノーザンテリトリー各地



予測される総プロジェクト費用

プロジェクトにより異なります



セクター

鉱物



プロジェクトのステータス

投資家向けに準備完了



投資の種類

株式投資、合併事業、長期供給契約、探鉱権協定





有望な鉱産物

- 希土類元素
- 銅
- リチウム
- コバルト
- 亜鉛
- 金
- 鉛
- ダイヤモンド
- マンガン
- ニッケル
- リン酸塩
- ウラン
- チタン
- ボーキサイト
- 重鉱物砂
- カリ
- バナジウム
- モリブデン
- 銀
- マグネサイト
- 塩

当準州の鉱物関連事業は、未開発地域の探鉱ターゲットや、すでに生産準備が整っているプロジェクトなど、数多くの投資機会を生み出しています。

鉱物関連事業におけるノーザンテリトリーのアドバンテージ

主要6鉱山に加えて数多くの小規模な鉱山が操業するノーザンテリトリーは、重要な鉱業の拠点としてその地位を確立しています。

現在は、17件の新規プロジェクトおよび1件の鉱山拡大プロジェクトにおいて実行可能性調査および承認のプロセスが進められています。未開発地域と再開発用地における探査活動が活発に行われている一方で、当準州にはまだ探査が行われていない地域が比較的多く存在し、人口も少ないため、新たな発見の機会が豊富にあります。

当準州は、高度成長を遂げるアジア太平洋地域への鉱産物供給において戦略的に有利な地理条件を有しています。天然ガスの

パイプライン・ネットワークをはじめ、ダーウィン港から準州内を縦断する中央鉄道回廊、ダーウィン港におけるマルチユーズ対応の保管および取扱設備、舗装された幹線道路など充実したインフラがすでに整っています。

探査および投資の刺激策として、ノーザンテリトリー政府は基礎研究段階の地学的データを作成して産業界および投資家に無料で提供しています。また政府による4年間（2018年から2022年まで）の20億円（2600万豪ドル）をかけた「リソーシング・ザ・テリトリー」イニシアティブは、専門の投資誘致およびプロジェクト促進サービスを提供しています。



投資機会 — ミドルアーム持続可能開発地区

機会

ダーウィンのミドルアーム半島に位置するミドルアーム持続可能開発地区は、世界的な競争力を備えた、低排出の製造を行う産業地区として台頭することが期待されています。

同地区は、すでにINPEXが主導するイクシスLNGおよびサントスが主導するダーウィンLNGプロジェクトの拠点となっています。さらなる開発に利用可能な工業用地もあり、実行可能性調査中のプロジェクトから投資決定の最終段階にあるプロジェクトまで、設立を予定する多数のプロジェクトが作業を進めています。

大規模な海洋インフラ、さらなる土地の提供、電気・ガス・原料・生産品の効率的な輸送のための大規模な輸送回廊網を含むインフラ拡大の計画も順調に進められています。

既存のエリアおよび将来予定されている開発地域は、以下を含む幅広い低排出工業プロセス、再生可能エネルギーおよびガス関連の製造をサポートできる敷地を提供します。

- 二酸化炭素の回収・貯留
- 石油化学製品
- 選鉱
- 水素
- 先端製造業



ロケーション

ノーザンテリトリー、
ダーウィン、
ミドルアーム半島



投資の種類

エクイティファイナンス、工業用地
とインフラ、原料供給と長期供給
契約



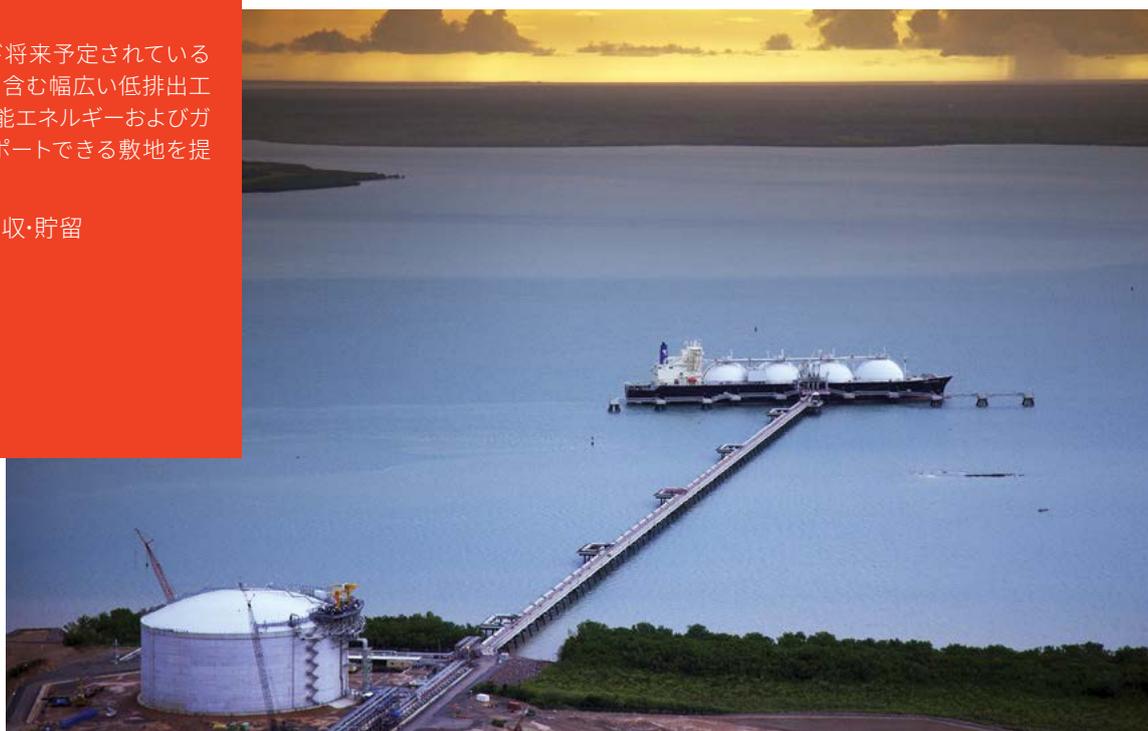
セクター

エネルギー、低排出石
油化学製品、選鉱およ
び先端製造業



プロジェクトのステータス

投資家向けに準備完了





協力的なビジネス環境

ノーザンテリトリー政府のインベストメント・テリトリー (Investment Territory) チームは、当準州における重要な投資を推進するため、案件管理のアプローチを用いています。

同チームでは、業界ごとに特化した専門のケースマネージャーが自らの経験、技能および専門知識を駆使してプロジェクト開発をサポートします。こうしたサポートには、開発に関連した課題や認可取得に関するアドバイスや、地元の関連企業等への紹介なども含まれています。

同チームは、当準州に長期的な利益をもたらすと思われる事業に主要プロジェクトのステータスを授与して支援します。こうしたプロジェクトには、中心的な単一の窓口を通した、効率的かつ一貫した行政手続による利益がもたらされます。

主要プロジェクトのステータスを獲得することは、政府の規制認可プロセスを通して集中的な支援を得ることも意味します。

当準州は、開発に対して投資家中心のアプローチを行い、また民間投資への不必要な障害を取り除くことに力を注いでいます。2021年4月、主要な民間投資の調整を図るためにノーザンテリトリー・インベストメント・コミッショナーおよび主要プロジェクト・コミッショナーが任命されました。





ノーザンテリトリーは無限の可能性を秘めています。投資家の声がすみずみまで響き渡る静かな環境と、そのアイデア実現に十分なスペースを備えた世界で唯一無二の場所、それがノーザンテリトリーなのです。

Investment Territory
ノーザンテリトリー政府

tel +61 8 8999 5091
e-mail investmentterritory@nt.gov.au
TheTerritory.com.au/invest



免責条項：法律に暗示された除外できないあらゆる条件に従うことを前提として、ノーザンテリトリー政府はいかなる場合にも、掲載された資料の使用に起因する偶発的または結果的に生じた損失または損害に対して責任を負いません。記載された情報については、掲載された時点において真実かつ正確であるよう細心の注意を払っておりますが、掲載後の状況の変化により、情報の正確性に影響が及ぶ場合があります。ノーザンテリトリー政府は、記載された情報および助言の正確性について、または読者が意図する使用目的への適性について保証、確約および表明はいたしません。



Investment Territory
ノーザンテリトリー政府

tel +61 8 8999 5091
e-mail investmentterritory@nt.gov.au

2021年4月



**THE
TERRITORY**
BOUNDLESS POSSIBLE